

石川県における がん登録

ダイジェスト版

【令和3年集計】

令和8年3月

石 川 県

はじめに

「石川県がん情報管理事業(がん登録事業)」は、石川県が実施主体となり、公益社団法人石川県医師会及び県内の医療機関等の協力のもと、平成3年から実施しており、今年で35年目をむかえました。

平成28年1月には、「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、全国がん登録が開始し、すべての病院及び指定診療所にごがん罹患情報等の届出が義務付けられたことから、より正確な情報の把握が可能になりました。

このダイジェスト版は、県民や医療従事者及び市町関係者等に対して、情報をわかりやすく提供し、がんの予防や医療活動に活用していただくために平成12年度から発行しているものです。

本冊子が、県民に対するがん予防の啓発や医療及び保健関係者の活動等に、大いに役立つことを願っております。

令和8年3月

石川県健康福祉部

ダイジェスト版のポイント紹介

詳細はこちらのページ

- 石川県民の死因の第1位はがんであり、年間約3,500人ががんで亡くなっています。がん登録はがん対策の基本であり、必要不可欠なものです。
…………がん登録事業の目的 P 1
- 石川県のがん登録は、行政と医療機関が協力して行っています。
…………石川県がん情報管理事業の実施体制 P 2
- 罹患数は、男性では肺がん、女性では乳がんが最も多くなっています。死亡数は、男性では肺がん、女性では大腸がんが最も多くなっています。
…………罹患数と死亡数 P 3
- 多くのがんでは、男女ともに、加齢に伴って罹患率が高くなります。乳がんや子宮がんは、若い年代から罹患が認められます。
…………年代別のがん罹患状況 P 4-6
- 多くのがんでは、男女ともに、加齢に伴って死亡率が高くなります。
…………年代別のがん死亡状況 P 7-9
- がんの年齢調整罹患率を全国と比べると、男性の肺がん、女性の胃がん、肺がん、悪性リンパ腫で全国より有意に高くなっています。
…………年齢調整罹患率の全国との比較 P 10
- がんの年齢調整死亡率は、全国と比較して有意に高い部位はみられませんでした。
…………年齢調整死亡率の全国との比較 P 11
- がんの罹患数を保健所別に比べると、全部位では、男性で能登北部が有意に高くなっていました。また、がんの死亡数を保健所別に比べると、部位別では、女性の乳がんが能登中部が有意に高くなっていました。
…………がん罹患・がん死亡の地域特性 P 12・13
- 女性の乳がん、膵臓がんの罹患が増加傾向にあり、胃がん、肝臓がんによる死亡は、減少傾向となっています。
…………年齢調整罹患率・死亡率の経年推移 P 14・15

用語の解説

★ 罹患率とは？

ある観察集団で、ある観察期間内に、新たに病気にかかった方が何人いたかを計算したものです。これは、ある一定期間内に病気にかかる危険の大きさを示す指標になります。

人口10万対の罹患率の意味は、1年間に10万人を観察した場合の率のことをいいます。

★ 死亡率とは？

ある観察集団で、ある観察期間内に、新たに病気で死亡した方が何人いたかを計算したものです。これは、ある一定期間内に病気で亡くなる危険の大きさを示す指標になります。

人口10万対の死亡率の意味は、1年間に10万人を観察した場合の率のことをいいます。

★ 年齢調整罹患率・死亡率とは？

罹患数を全人口で割ったものが粗罹患率ですが、粗罹患率は、高齢者が多いと高い罹患率を示しやすいため、地域比較や経年比較をするには適当な指標とはいえません。

そこで、年齢構成を考慮して計算したのが、年齢調整罹患率です。これは、集団における年齢以外の要因によるがんのかかり易さを示す指標といえます。

計算したい地域の人口の構成が、基準人口（昭和60年モデル人口）と同じであると仮定して算出する直接法を用いています。

年齢調整死亡率も同様の考え方で、年齢構成を補正した死亡率のことをいいます。

★ 標準化罹患比・死亡比とは？

標準化罹患比とは、標準とする集団に比べて、どれくらいがんに罹患しているかを示す値で、これが100の場合は標準集団と同じ、100より大きい場合は、標準集団よりもがんの罹患が多く、100より小さい場合は、がんの罹患が少ないことを意味します。

標準化死亡比も同様の考え方で、標準とする集団に比べて、どれくらいがんで死亡しているかを示す値になります。

★ 保健所管内別市町は？

南加賀保健所：小松市、加賀市、能美市、川北町

石川中央保健所：かほく市、白山市、野々市市、津幡町、内灘町

能登中部保健所：七尾市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町

能登北部保健所：輪島市、珠洲市、穴水町、能登町

金沢市保健所：金沢市

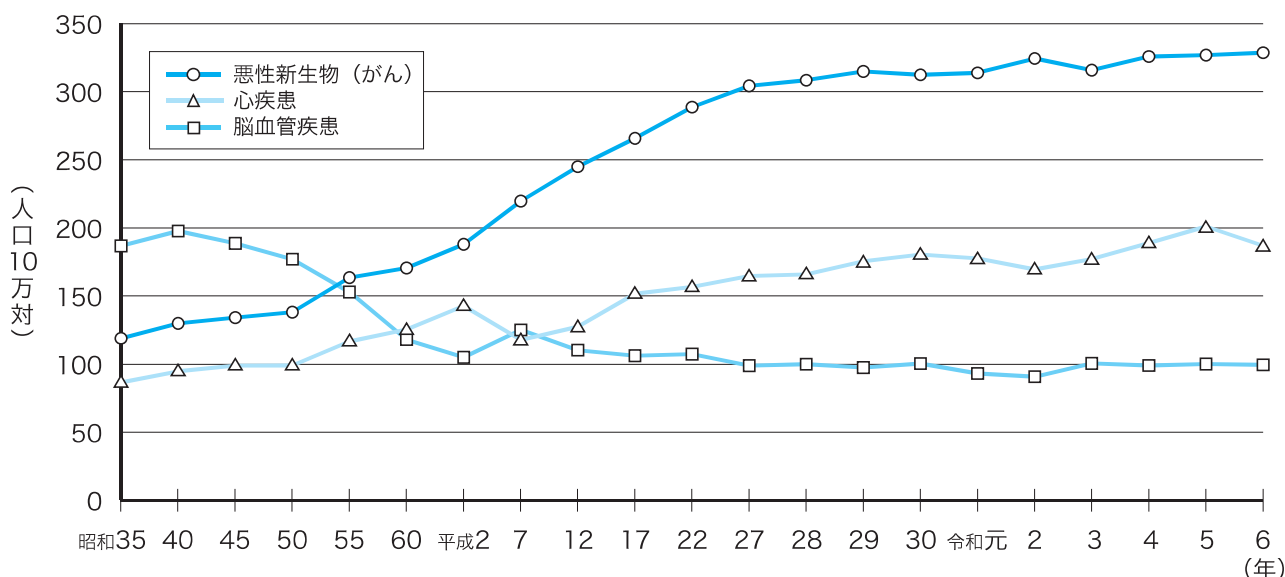
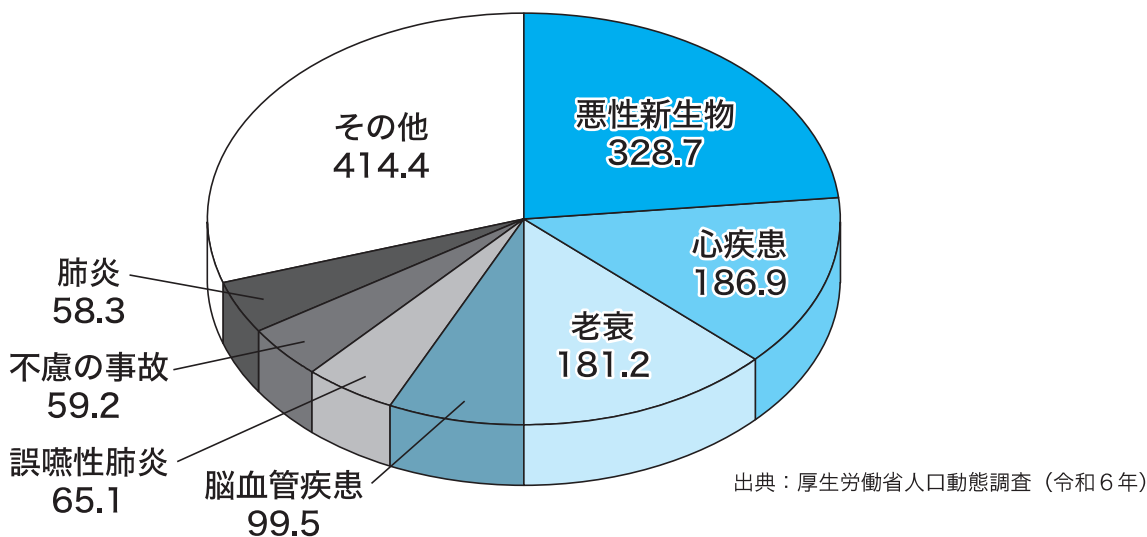
がん登録事業の目的

悪性新生物（以下、「がん」といいます。）は、県民の死亡原因の第1位を占めており、高齢化が進むとともに、がんで亡くなる人は増加（令和6年は3,547人）している傾向があります。がん対策を推進することは、県民の健康の保持・増進を図る上でとても大切です。

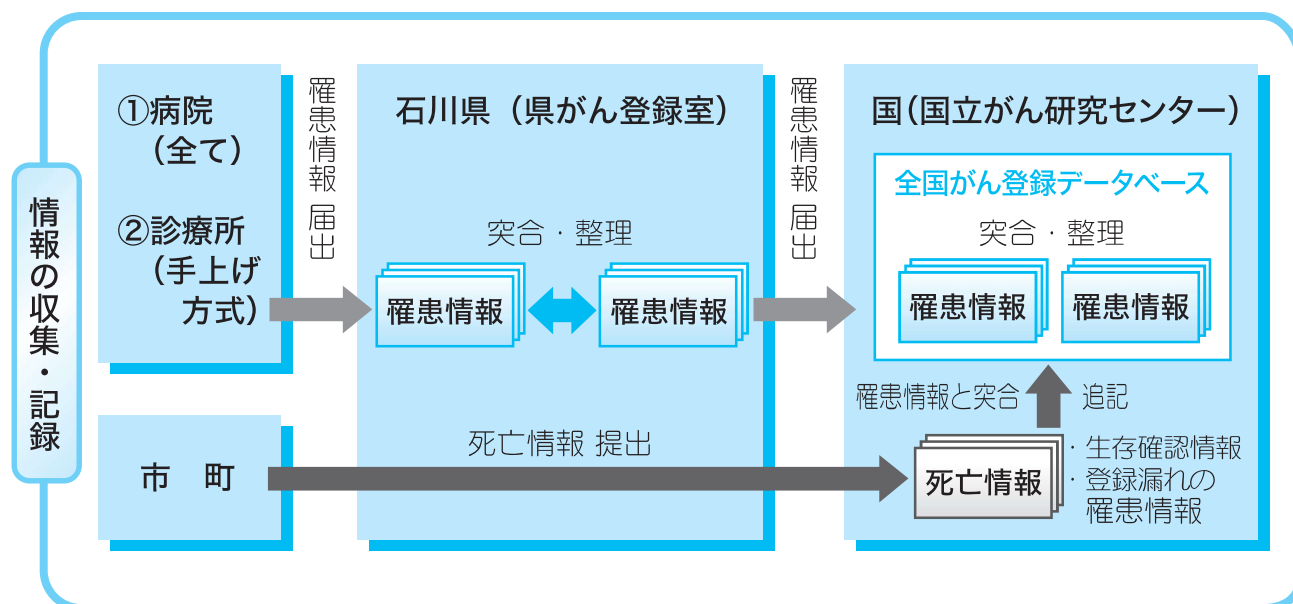
そのためには、「がん登録」によってがん罹患数（がんにかかった人の数）等を的確に把握し、がん対策を検討・実施する必要があります。

石川県がん情報管理事業（がん登録事業）は、各種がんについて、その発病から治癒または死亡に至るまでの医療情報を多方面から集め、これらの情報をがんの予防や医療活動に活用することを目的としています。

石川県の主要死因別死亡率（人口10万対）



石川県がん情報管理事業の実施体制



○ 実施体制

石川県が実施主体となり、公益社団法人石川県医師会及び県内の医療機関等の協力を得て実施しています。

平成28年1月に、「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、全国がん登録が開始されたことにより、すべての病院及び指定された診療所に罹患情報等の届出が義務付けられました。

○ がん登録の対象者

県内の病院等において、がんに罹患したと診断され県に届け出られた者及び市町から報告される死亡者情報票によって把握されたがんによる死亡者を対象としています。

・ 罹患者の登録

県内の病院等が、新たにかん患者を診断した場合、「全国がん登録届出票」を県がん登録室（県医師会内）に提出し、国の全国がん登録データベースにその内容が記録されます。

・ 死亡者の登録

市町からの死亡者情報票の提出については、人口動態調査の死亡票の作成・提出をもって替えることができ、国の全国がん登録データベースにその内容が記録されます。

○ 登録対象となるがん

がん登録等の推進に関する法律施行令第1条に掲げられた疾病が登録対象となっています。

○ 集計対象期間

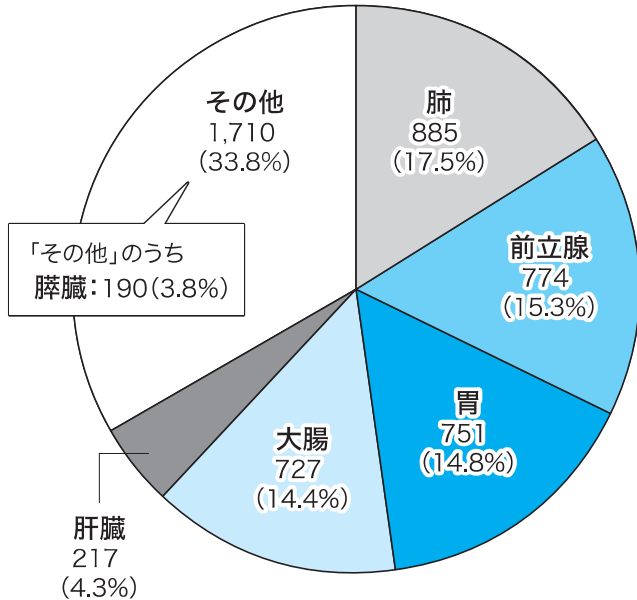
がんに罹患したと診断された日又はがんで死亡した日が、令和3年（2021年）1月1日から令和3年12月31日までの1年間です。

罹患数と死亡数(R3)

※罹患数は上皮内がんを除く上位5位まで表記

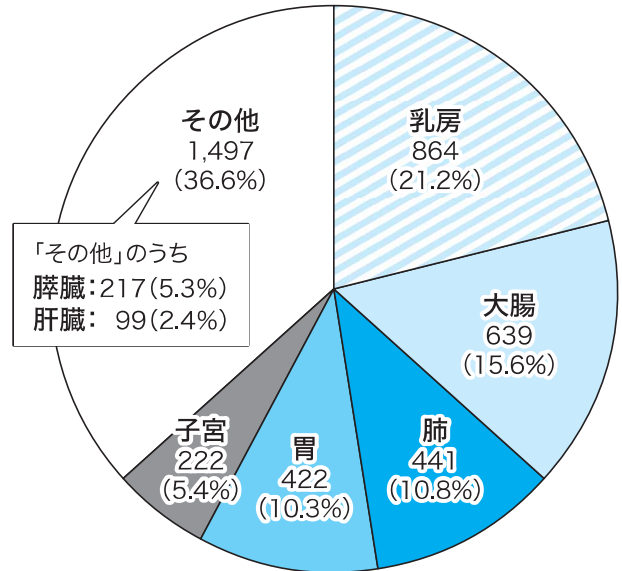
罹患数（男性）

総数：5,064



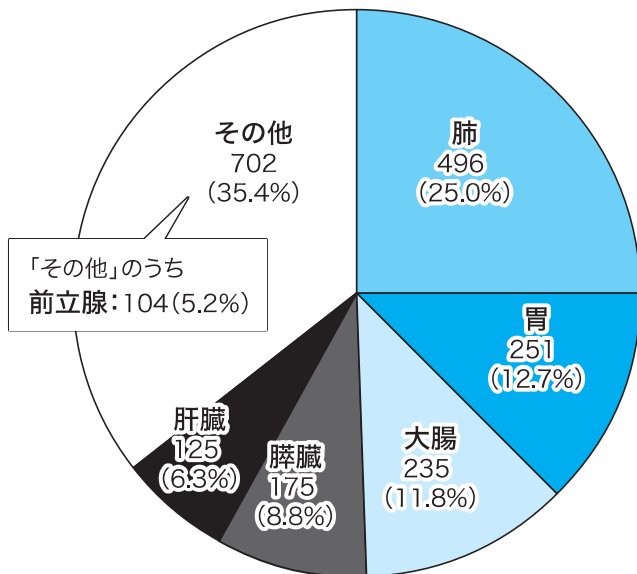
罹患数（女性）

総数：4,085



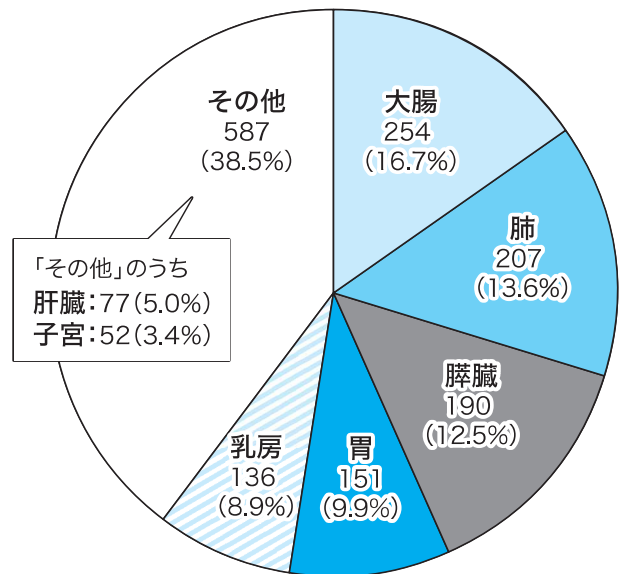
死亡数（男性）

総数：1,984



死亡数（女性）

総数：1,525



出典：石川県におけるがん登録（令和3年集計）

罹患数は、男性では肺がん、前立腺がん、胃がん、女性では乳がん、大腸がん、肺がんの順に多くなっています。

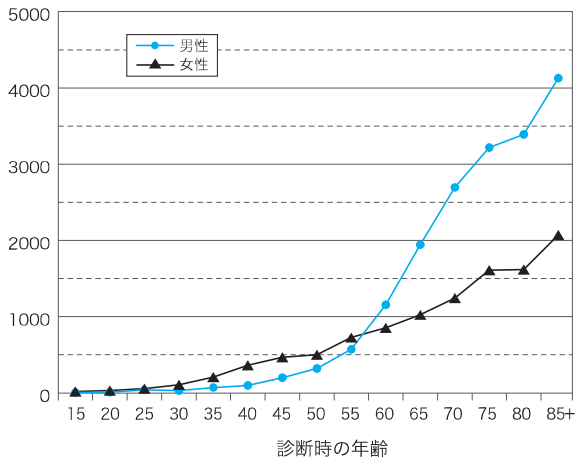
死亡数は、男性では、肺がん、胃がん、大腸がん、女性では大腸がん、肺がん、膵臓がんの順に多くなっています。

年代別のがん罹患状況(R3)

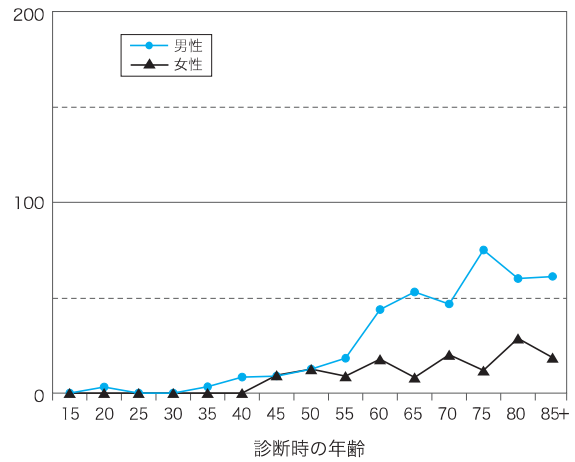
(人口10万対)

※上皮内がんを除く

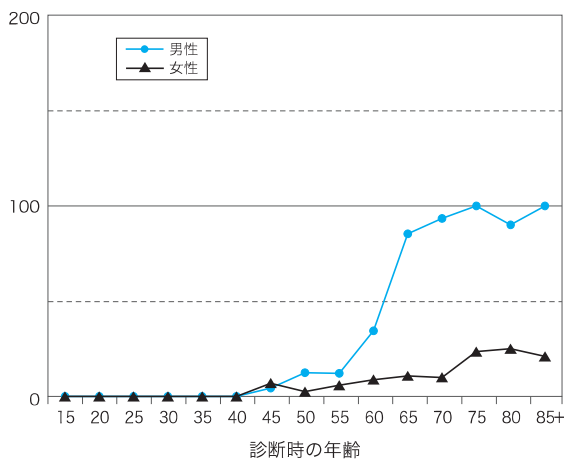
全部位



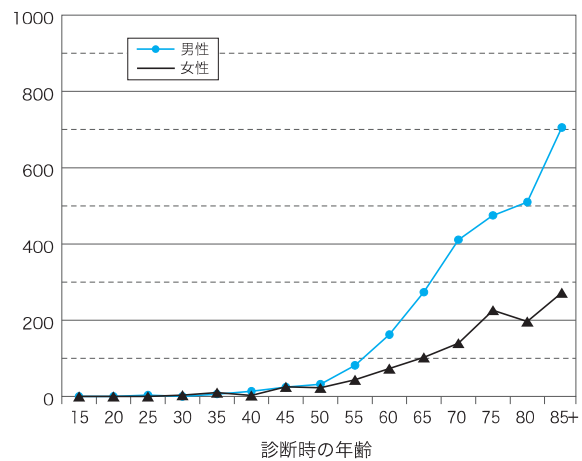
口腔・咽頭



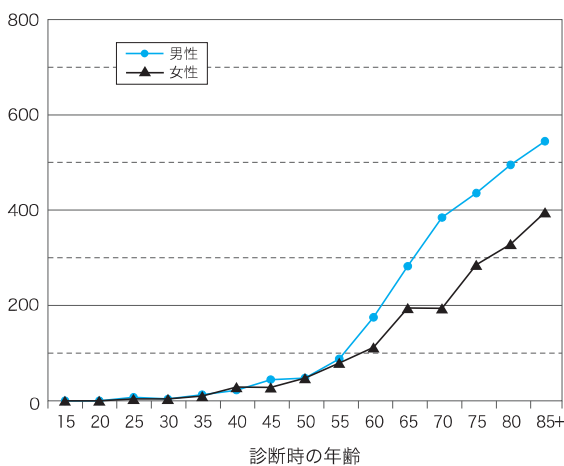
食道



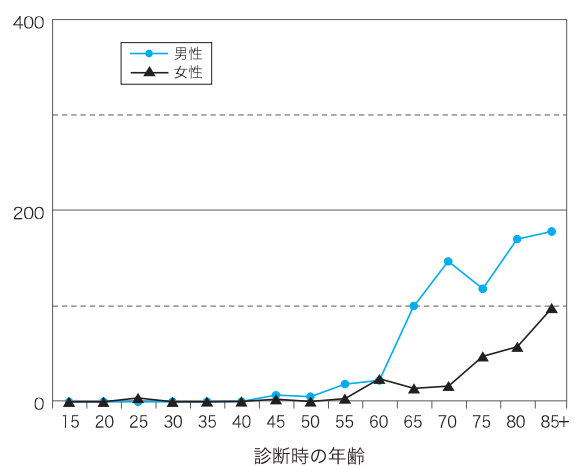
胃



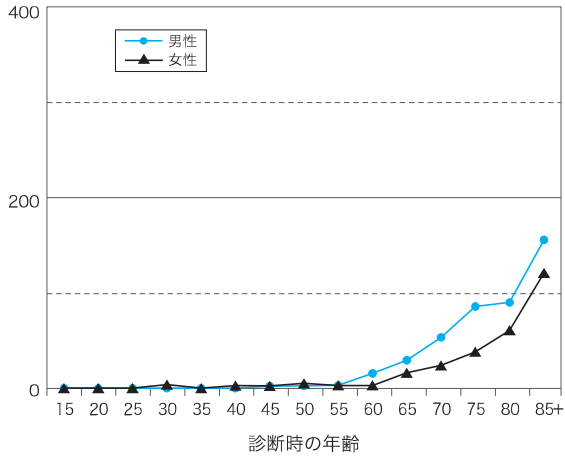
大腸



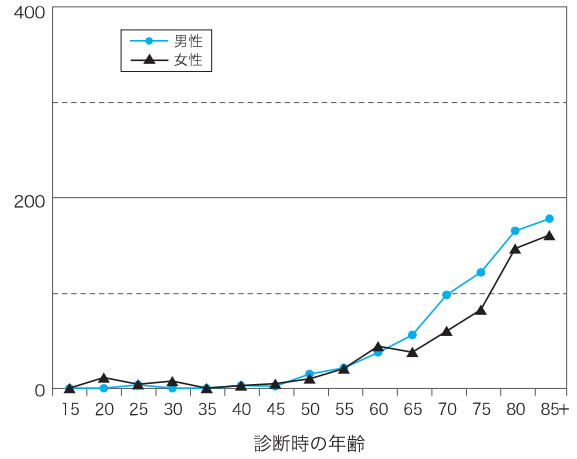
肝臓



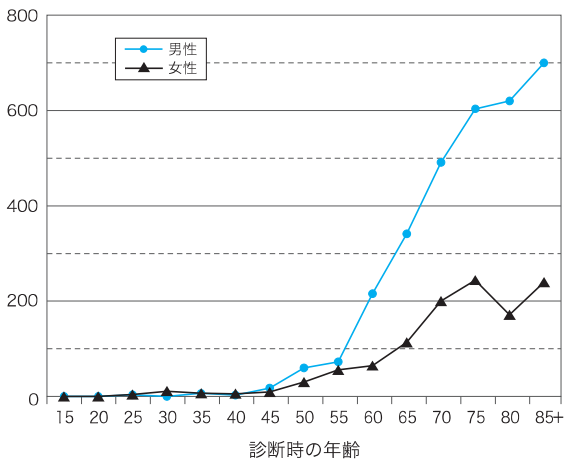
胆のう・胆管



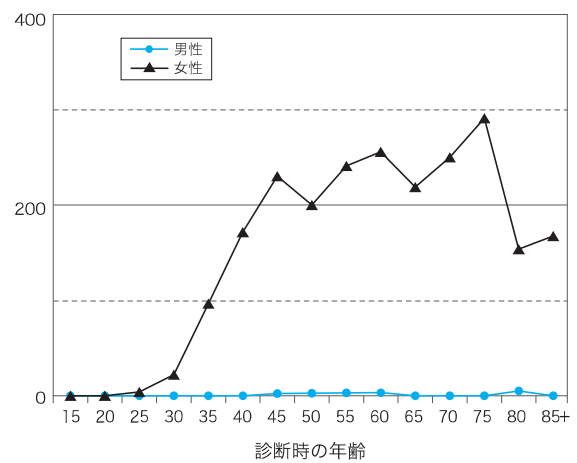
膵臓



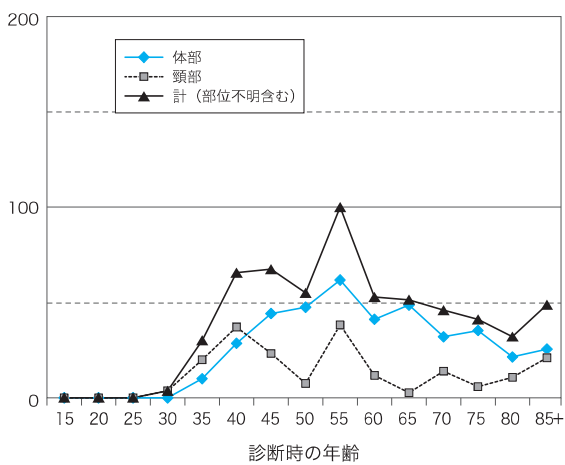
肺



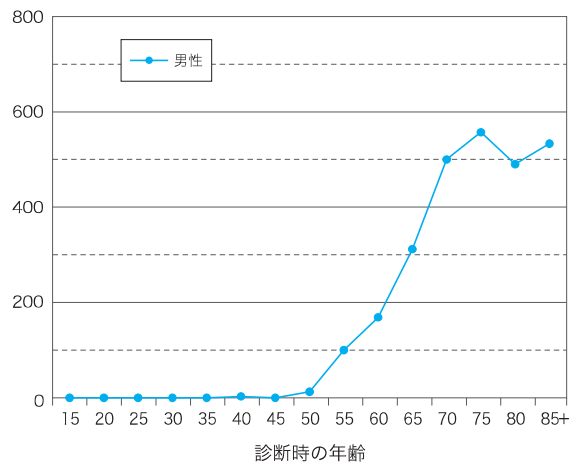
乳房

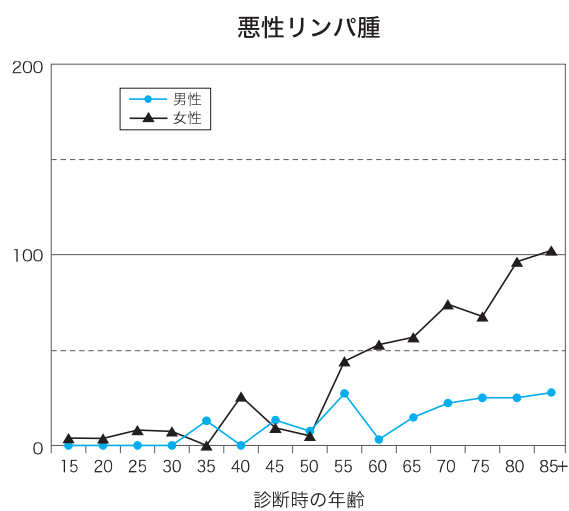
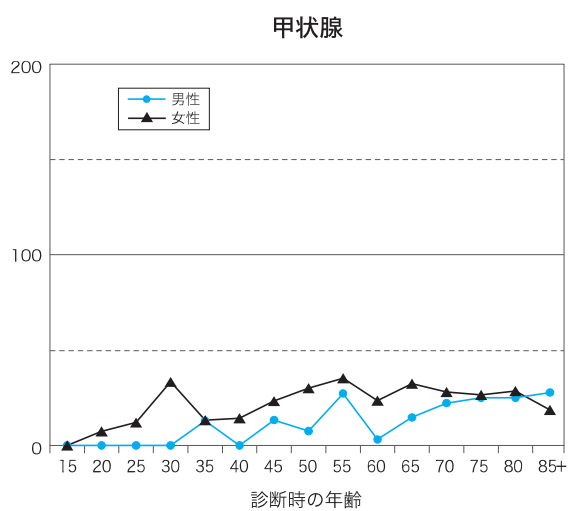
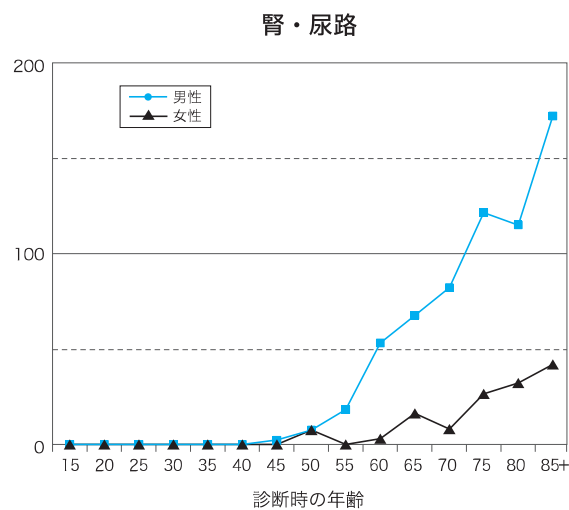
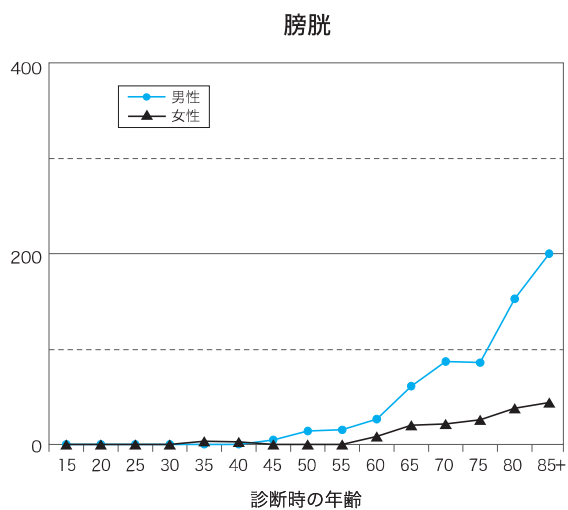


子宮



前立腺



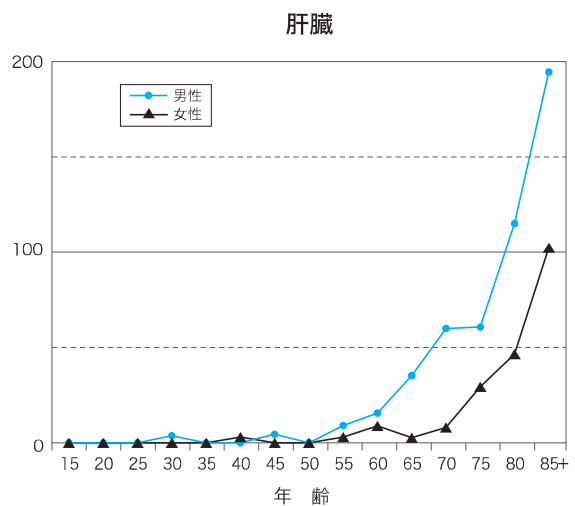
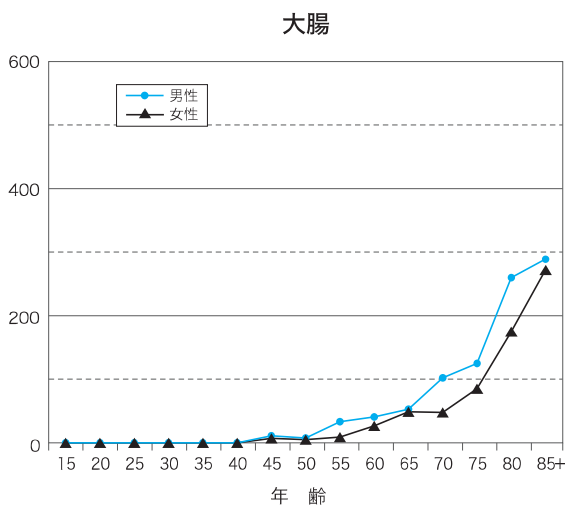
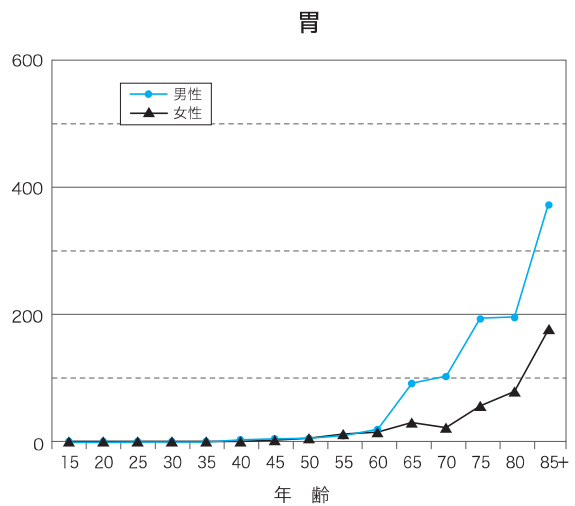
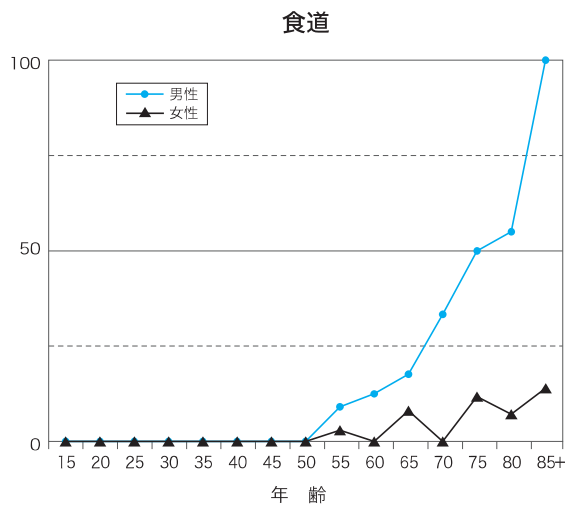
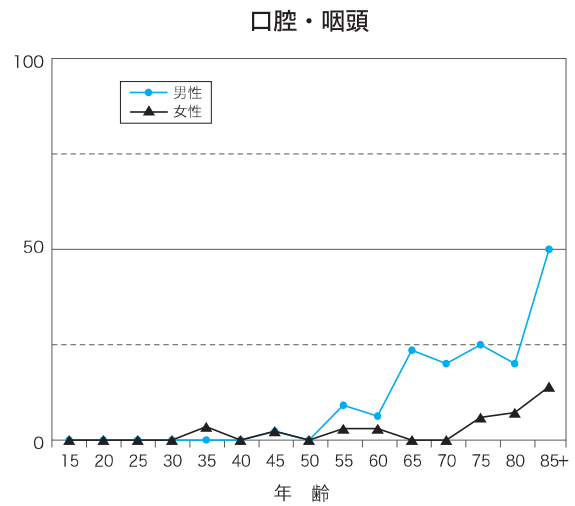
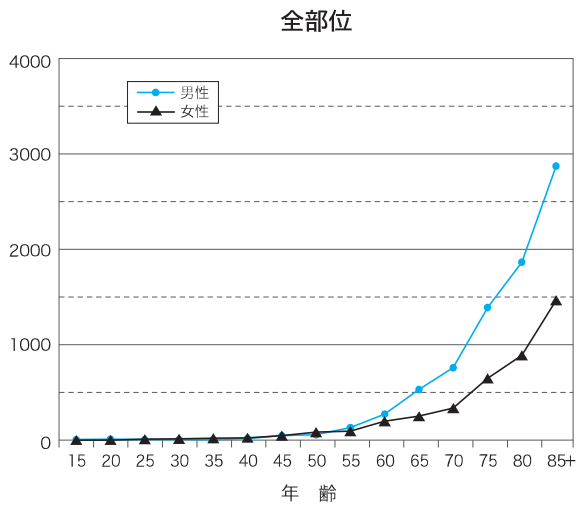


出典：石川県におけるがん登録（令和3年集計）

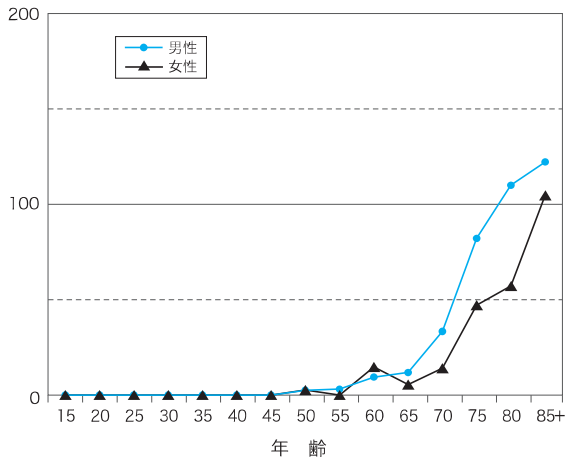
多くのがんは、男女ともに、加齢に伴って罹患率が高くなります。
乳がんや子宮がんは、若い年代から罹患が認められます。

年代別のがん死亡状況(R3)

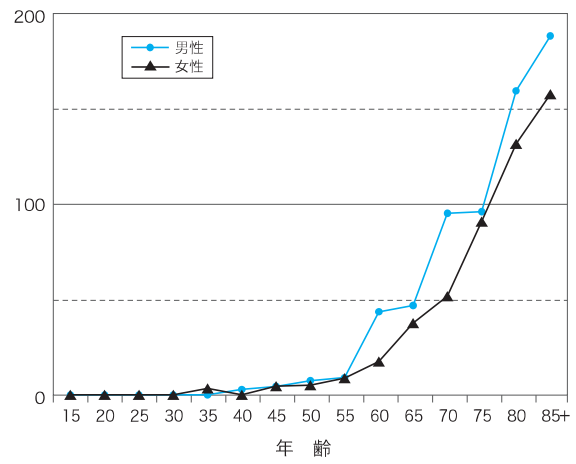
(人口10万対)



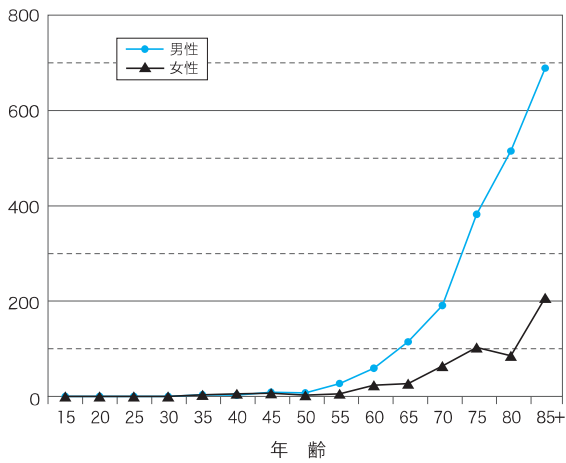
胆のう・胆管



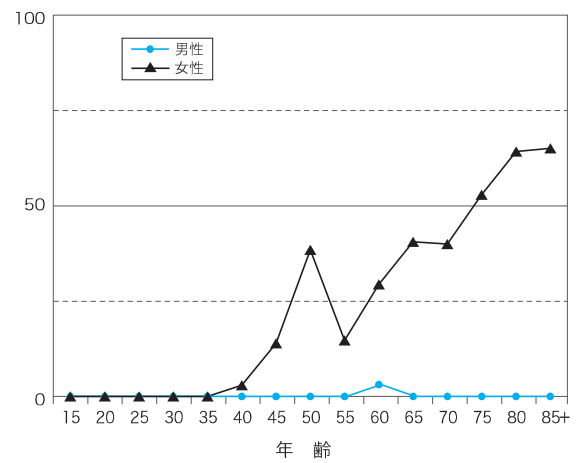
膵臓



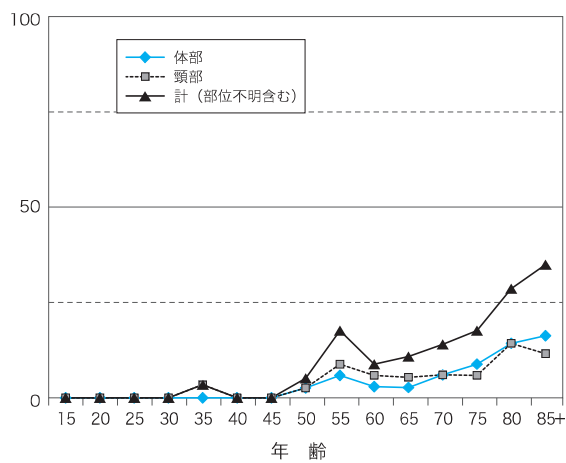
肺



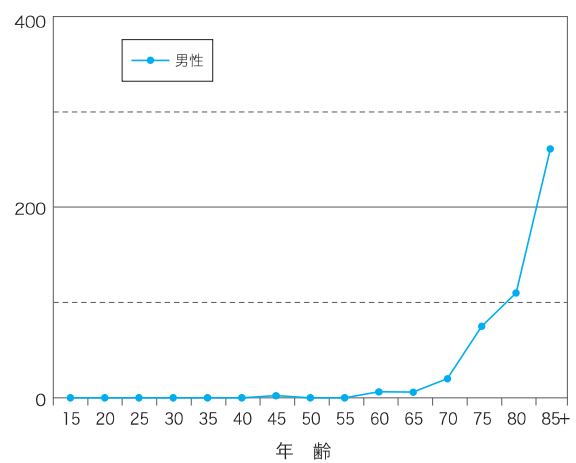
乳房

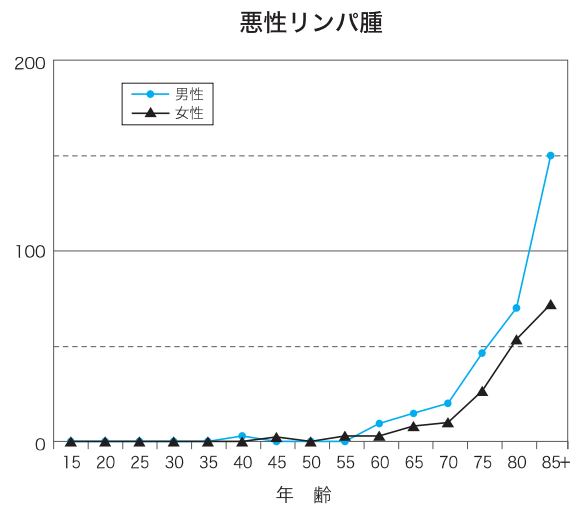
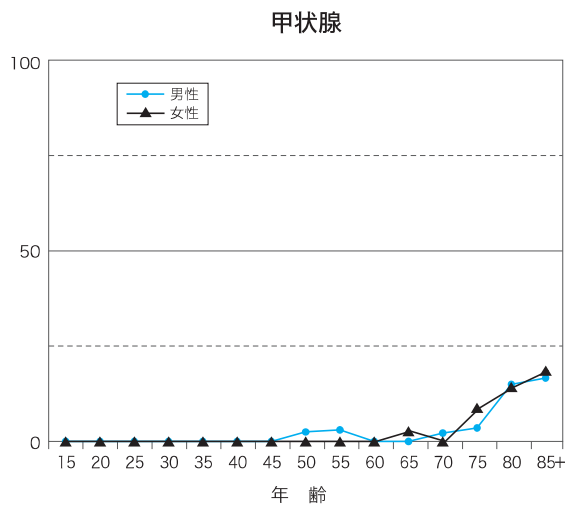
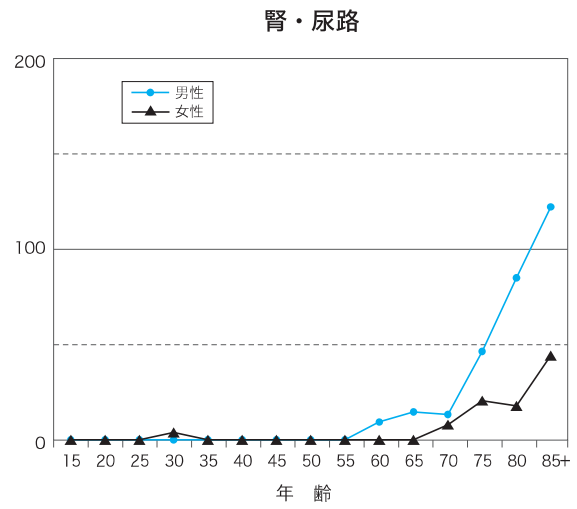
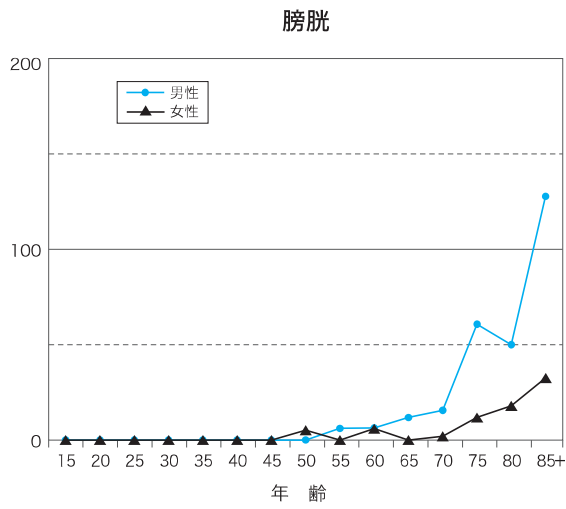


子宮



前立腺





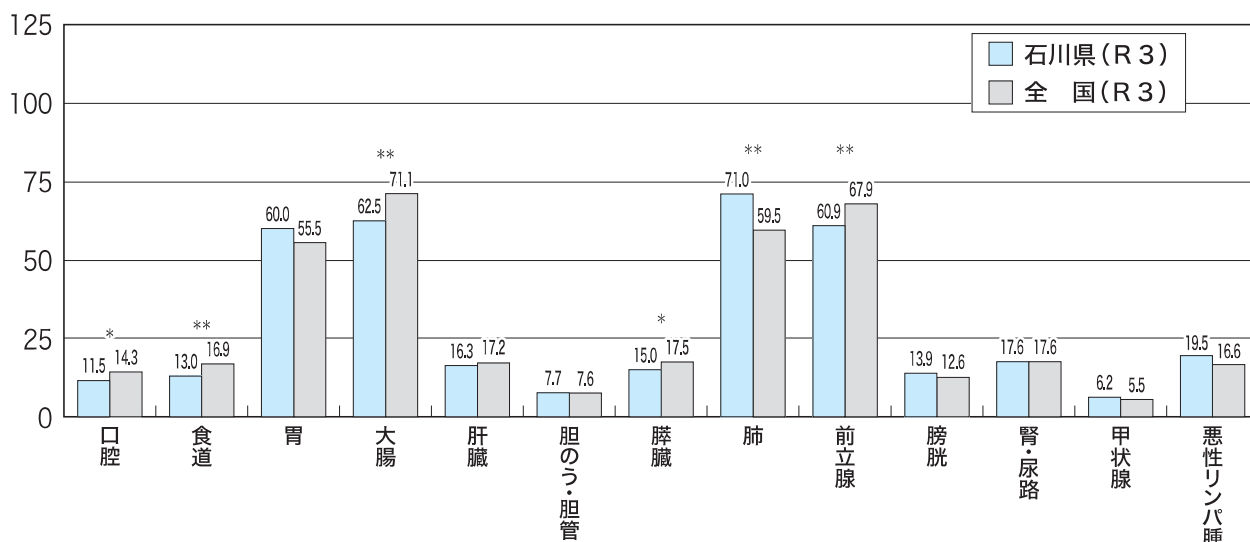
出典：石川県におけるがん登録（令和3年集計）

多くのがんは、男女ともに、加齢に伴って死亡率が高くなります。

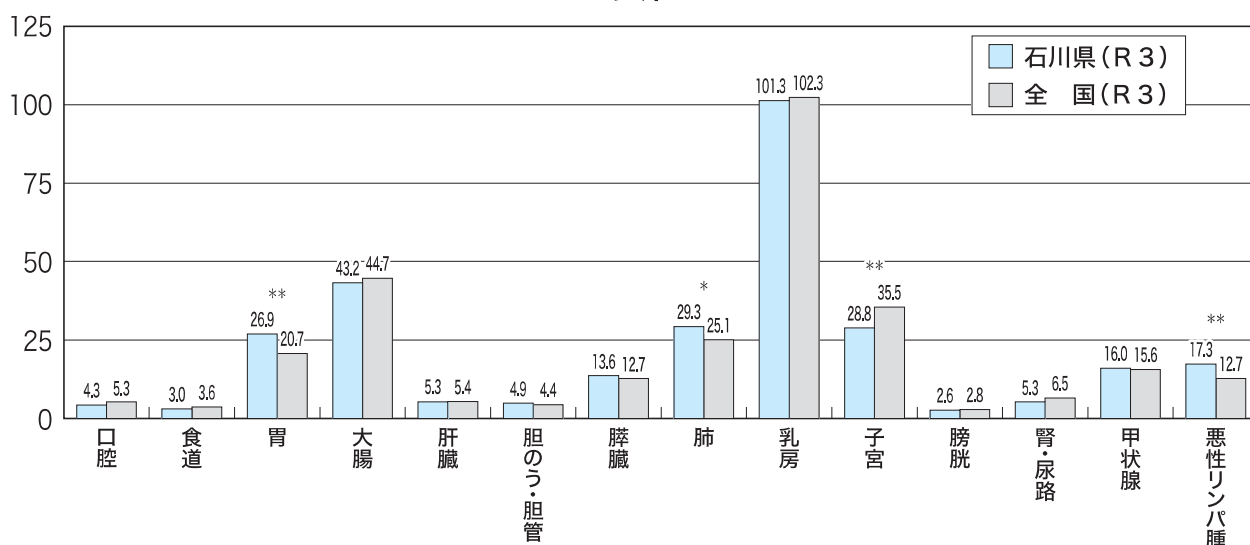
年齢調整罹患率の全国との比較 (R3)

(人口10万対)
※上皮内がんを除く

男性



女性



*P<0.05で有意差あり **P<0.01で有意差あり

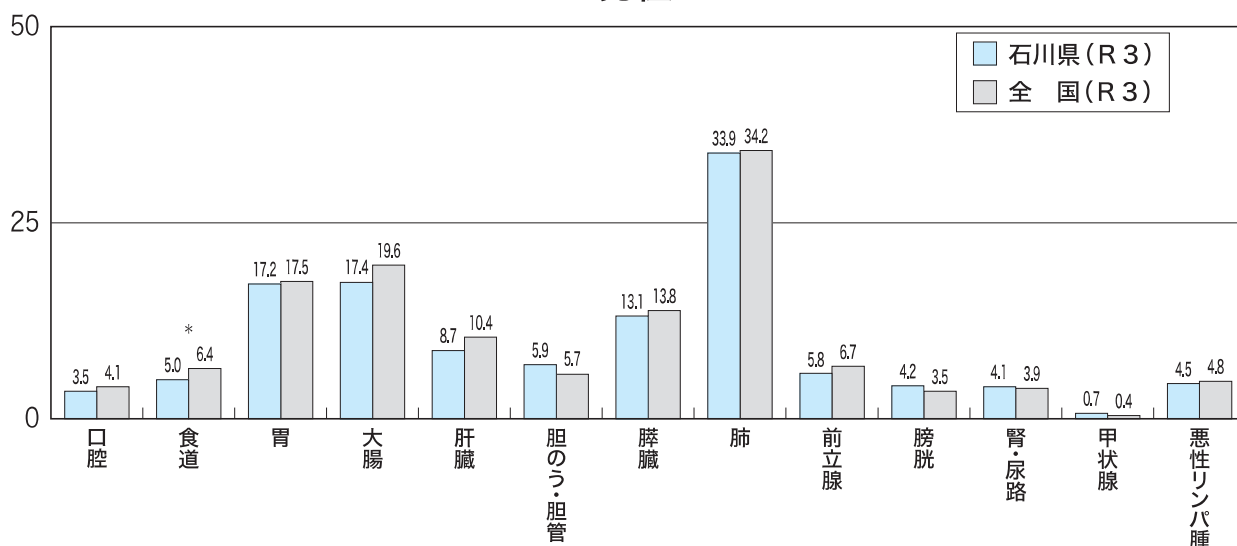
出典：石川県におけるがん登録（令和3集計）

年齢調整罹患率は、男性の肺がんで全国より有意に高くなっています。
女性では、胃がん、肺がん、悪性リンパ腫で全国より有意に高くなっています。

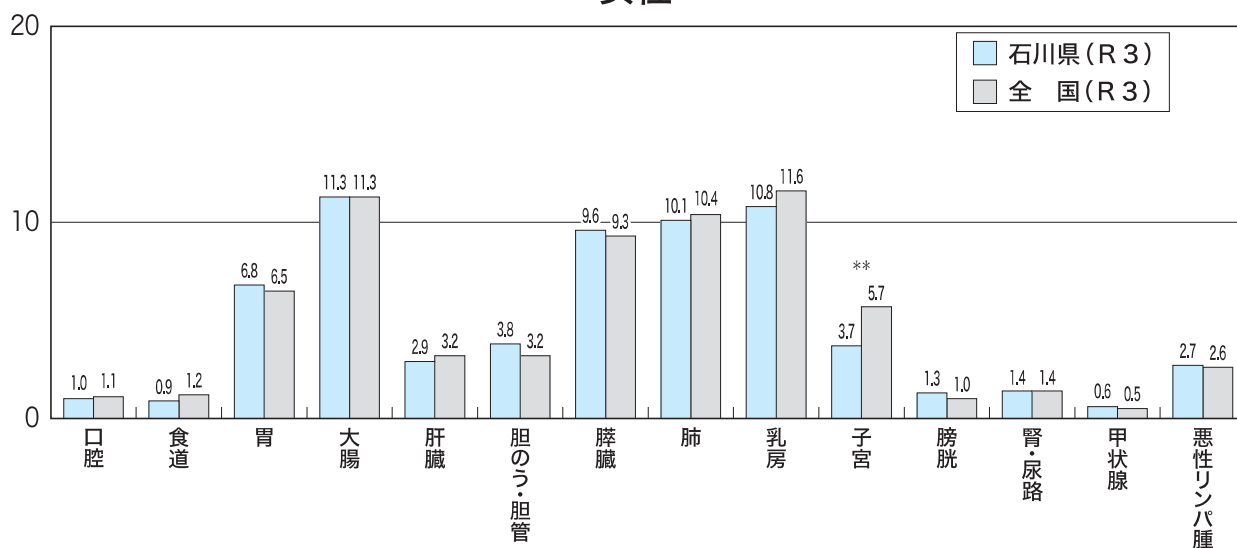
年齢調整死亡率の全国との比較 (R3)

(人口10万対)

男性



女性



*P<0.05で有意差あり **P<0.01で有意差あり

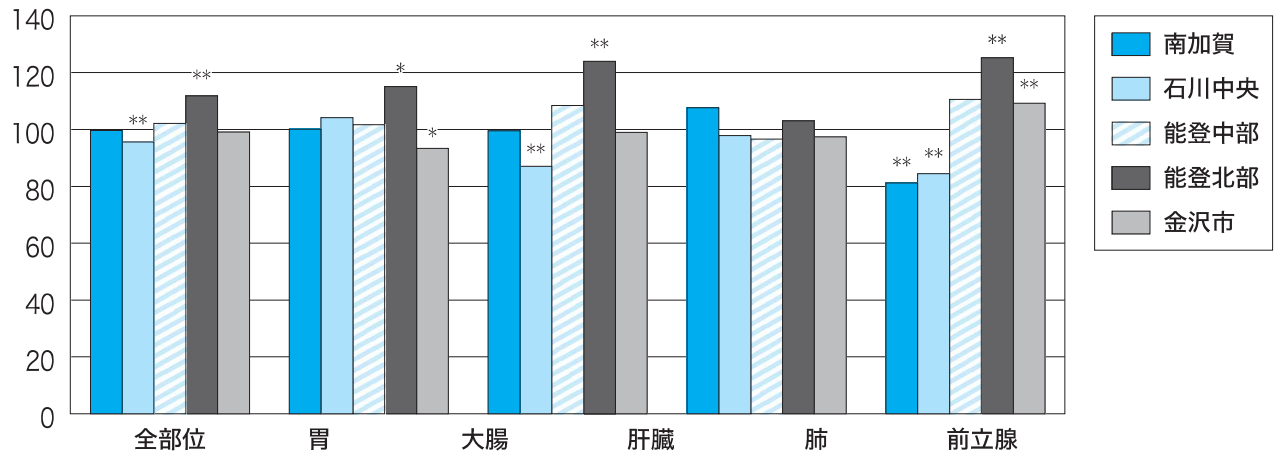
出典：石川県におけるがん登録（令和3年集計）

年齢調整死亡率は、全国と比較して有意に高い部位はみられませんでした。

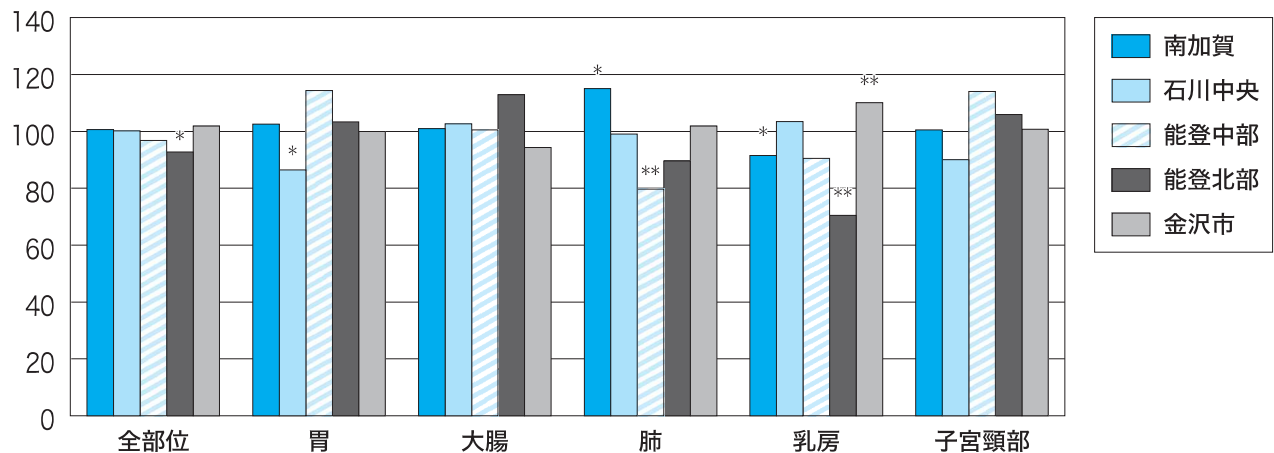
主ながん罹患の地域特性 (保健所別) (R1年~R3年の3年移動平均)

(石川県全域の値を100とする)
※上皮内がんを除く

標準化罹患比(男性)



標準化罹患比(女性)



*P<0.05で有意差あり **P<0.01で有意差あり

出典：石川県におけるがん登録（令和3年集計）

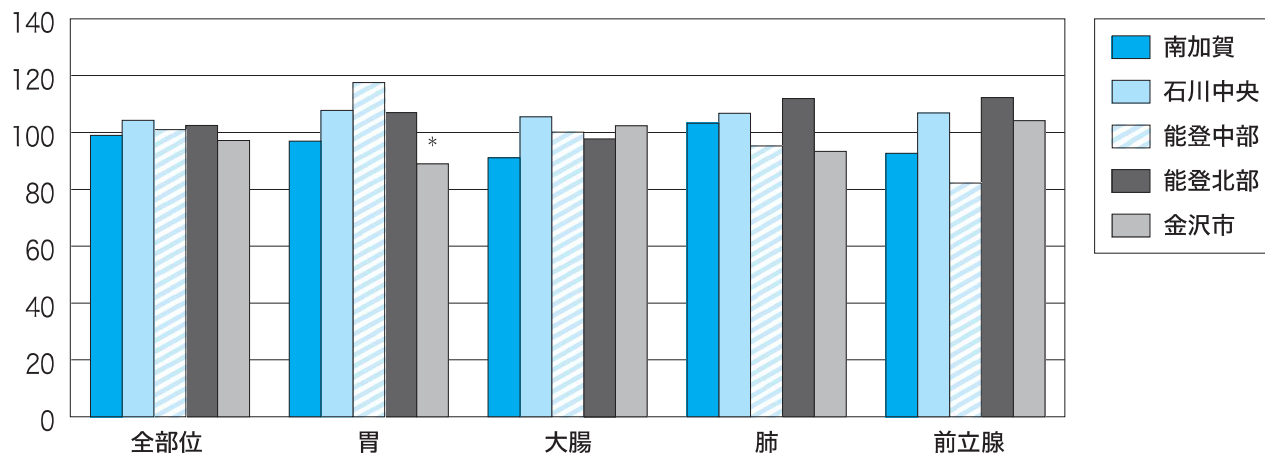
がんの罹患を保健所別にみると、全部位では、男性で能登北部が有意に高くなっていました。

部位別にみると、男性では、胃がん、大腸がん、前立腺がん、女性では、肺がん、乳がん、子宮頸部が有意に高くなっていました。

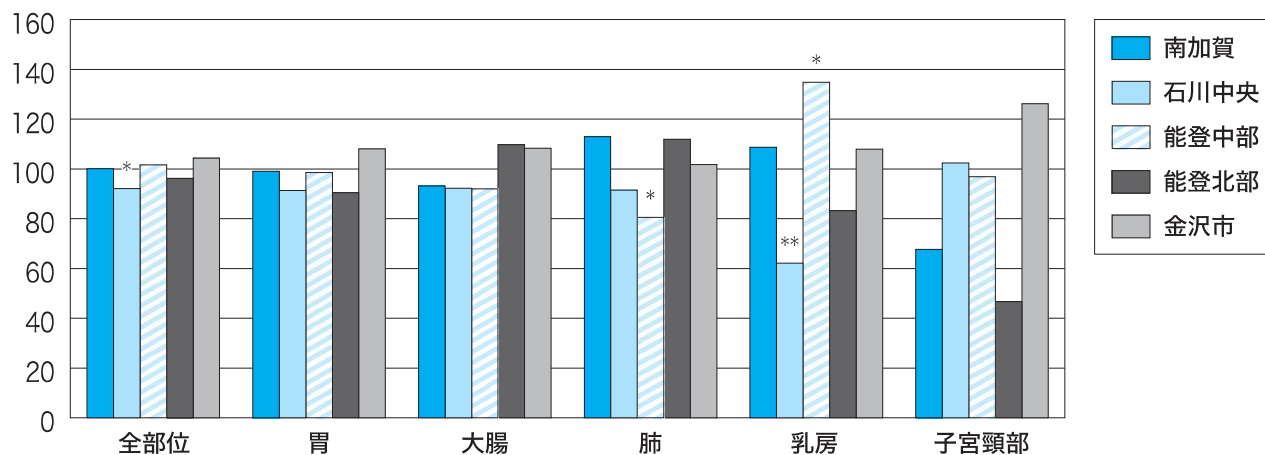
主ながん死亡の地域特性 (保健所別) (R1年~R3年の3年移動平均)

(石川県全域の値を100とする)

標準化死亡比(男性)



標準化死亡比(女性)



*P<0.05で有意差あり **P<0.01で有意差あり

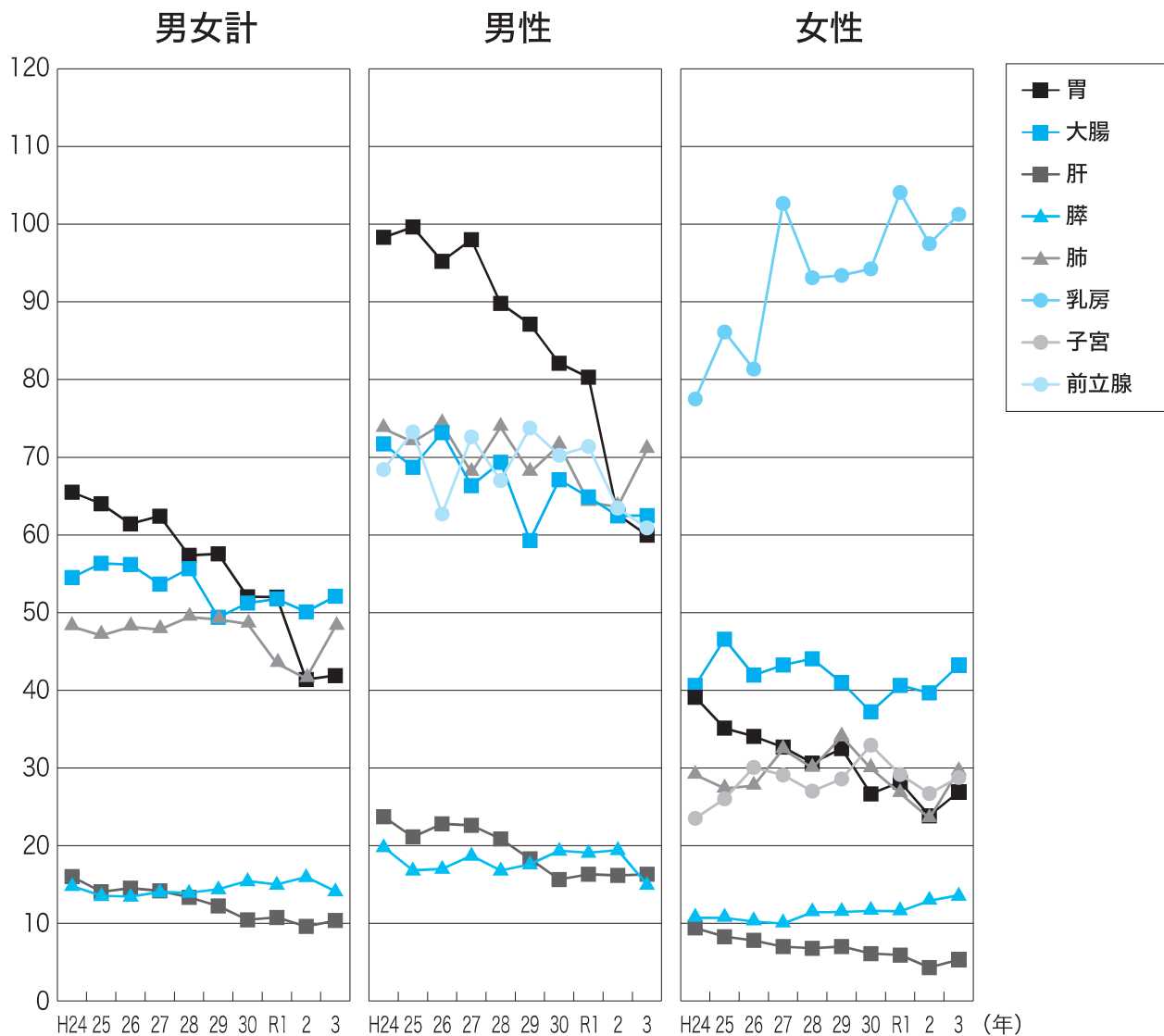
出典：石川県におけるがん登録（令和3年集計）

がんの死亡を保健所別にみると、全部位では有意に高い地域はありませんでした。

部位別にみると、男性では、有意に高い部位はなく、女性では、乳がんが能登中部が有意に高くなっていました。

年齢調整罹患率の経年推移

(人口10万対)
※上皮内がんを除く



出典：石川県におけるがん登録（令和3年集計）

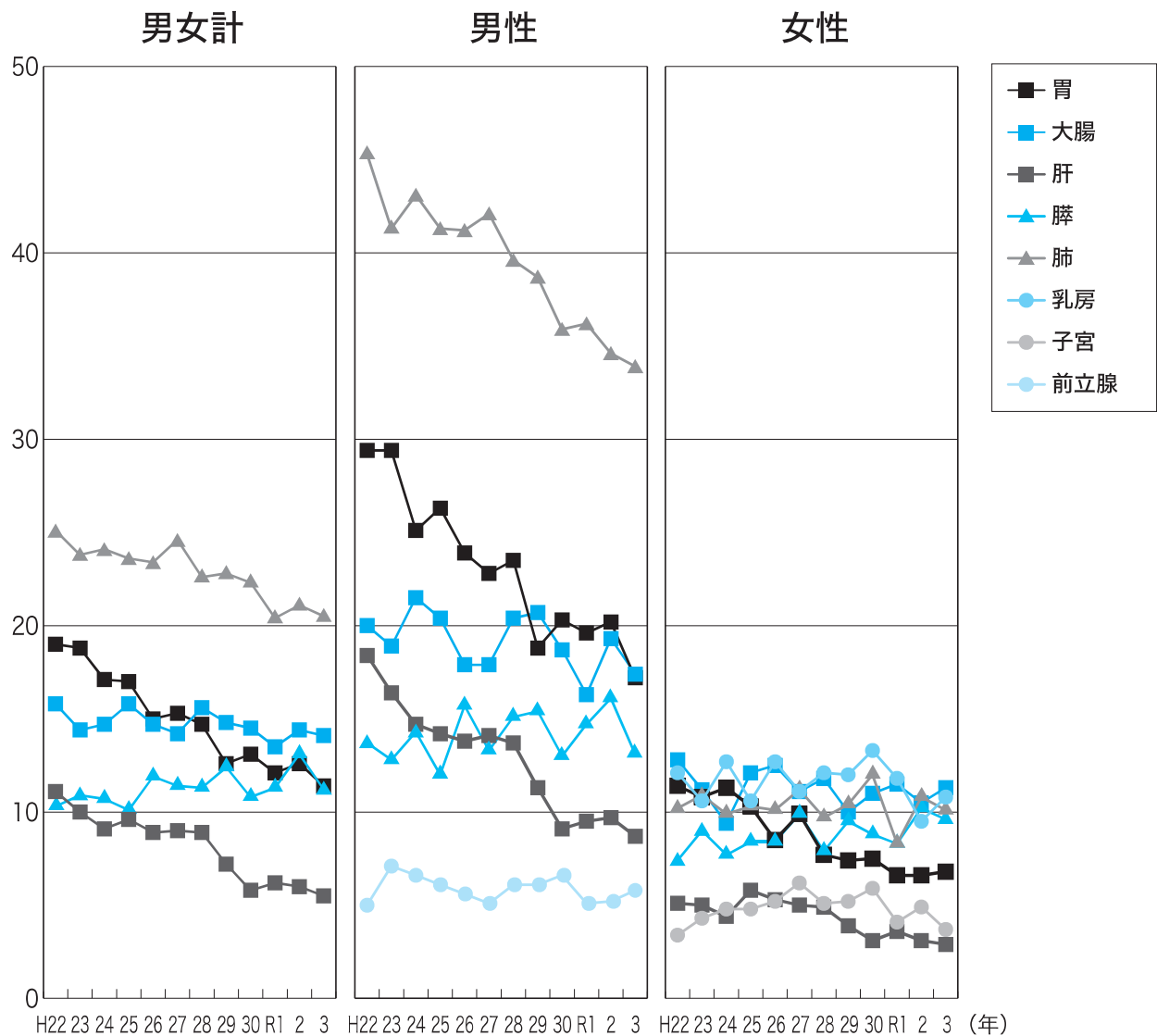
年齢調整罹患率の推移をみると、胃がんが減少傾向となっており、女性の乳がん、膵臓がんは増加傾向となっています。

その他のがんについては、概ね横ばいとなっています。

※罹患率は、がん登録の精度の影響をうけます。特に古い年次についてはその点に留意する必要があります。

年齢調整死亡率の経年推移

(人口10万対)



出典：石川県におけるがん登録（令和3年集計）

年齢調整死亡率の推移をみると、胃がん、肝臓がん、男性の肺がんが減少傾向となっています。

その他のがんは、概ね横ばいか、緩やかに減少しています。

このダイジェスト版は、「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会
がん登録・評価等部会のがん登録委員会ワーキンググループ」の
下記の先生方のご協力をいただいて作成したものです。

氏 名	職 名
西 野 善 一	金沢医科大学医学部公衆衛生学教授
齊 藤 典 才	(公社)石川県医師会理事
田 畑 正 司	(一財)石川県予防医学協会健診部長



石川県健康福祉部健康推進課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地

電話 076-225-1437

FAX 076-225-1444

がん登録集計結果の詳細やがん登録資料の利用についてなど、石川県がん情報管理事業に関する情報は、下記のホームページからも入手できます。

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenkou/gan-touroku/top.html>